

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

① 組合消防費（防災安全課）

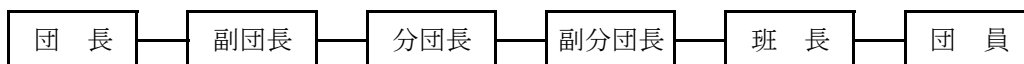
乙訓消防組合に対し、分担金を執行した。

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

① 消防団活動費（防災安全課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

1 組織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成され、それぞれ消防ポンプ自動車1台、可搬式小型動力ポンプ1台を配置している。

2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

3 年報酬と費用弁償

年 報 酬		(単位：円)
区 分	金 額	
団 長	214,000 円	
副 団 長	170,000 円	
分 団 長	100,000 円	
副 分 団 長	74,000 円	
班 長	60,000 円	
団 員	52,000 円	

費 用 弁 償		(単位：円)
区 分	金 額	
災 害 出 動	3,000 円	
警 戒 出 動	2,000 円	
訓 練 出 動	2,500 円	
賄 費	1,000 円	

4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	(精励章)	安田 基 さん
	(精励章)	中村 昌典 さん
(2) 日本消防協会会長表彰	(功績章)	野村 和久 さん
	(勤続章)	岡田 武 さん
(3) 京都府消防協会会長表彰	(精績章)	清水 昭年 さん
	(精勤章)	大嶋 英夫 さん
	(精勤章)	須田 重正 さん

5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

消防団員特別教育操法指導科（第16期）（1日）5人

消防団員幹部教育中級幹部科（第4期・南部）（1日）2人

消防団員特別教育特別訓練（1日）2人

6 訓練・教育

(1) 訓練

ア 幹部団員及び初級団員訓練

平成24年4月8日（日）に、向日市役所駐車場において幹部団員及び初級団員訓練を実施し、幹部団員及び新入団員等に対して消防団活動に必要な規範訓練等を行った。

イ 第22回京都府消防操法大会

平成24年8月5日（日）に、京都府立丹波自然公園において第22回京都府消防操法大会が開催され、5月から延べ3か月間訓練に取り組んできた選抜チームにより出場した。

ウ 文化財防火運動に伴う消防訓練

平成25年1月27日（日）に、文化財防火運動の一環として、向日神社において乙訓消防組合・向日市消防団合同の消防訓練を実施し、消防署と消防団の連携強化を図った。

エ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成25年3月3日（日）に、株式会社ツバキエマソンにおいて、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長及び第3分団7人の計10人が参加し、消防署と消防団の連携を強めた。

(2) 団員教養

平成24年6月17日（日）に、向日消防署において消防団員30人を対象とした普通救命講習を実施した。

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況（単位：台）

整備項目	台数
定期車検整備台数	3
定期点検整備台数	2

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具（単位：個）

機械器具	個数	
小型動力ポンプ	6	
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36

(3) 消防車両の更新

第1分団消防ポンプ車両の更新 1台

② 防火活動費（防災安全課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第10期女性防火推進員 30人

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費（防災安全課）

1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施している。

2 消防水利の状況

(1) 消火栓の状況

(単位：個)

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	55	157	31	25	48	14	330
基準外	21	47	26	53	72	5	224
計	76	204	57	78	120	19	554

平成25年3月31日現在

(2) 防火水槽の状況

(単位：基)

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準（有蓋） 40m ³ 以上	21	61	14	15	30	3	144
基準外（有蓋） 40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	23	65	15	18	30	3	154

平成25年3月31日現在

(3) その他の水利の状況

(単位：箇所)

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他	1	1	0	0	1	1	4
計	7	10	1	0	2	3	23

平成25年3月31日現在

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

② 災害対策事業費（防災安全課）

1 防災パトロール

梅雨期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の総点検を関係機関の協力を得て実施し、万全を期した。

本年度のパトロールは、市内の危険箇所を選定。防災パトロール終了後、今後の対策等について協議した。

(1) 実施日 平成24年5月21日（月） 午前9時30分～11時30分

(2) 点検箇所 寺戸町新池、物集女町北ノ口急傾斜地、向日町南山急傾斜地

(3) 出席者 市長以下32人

2 防災対策

- (1) 自主防災組織の育成に努めた。 142組織
- (2) 災害時に必要な食料や生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材を計画的に備蓄するため、向日市備蓄計画により、災害用備蓄物資及び防災用資機材の整備に努めた。
- (3) 平成17年度から実施の南山急傾斜地崩壊対策事業を継続施工した。
- (4) 災害時要配慮者避難支援対策事業として、対象者に登録の案内を行うとともに、要配慮者名簿を作成した。

3 市民等啓発対策

- (1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市役所ロビーにおいて阪神淡路大震災・東日本大震災の写真パネルや京都西南部活断層地図、淀川浸水想定地図、防災グッズ、備蓄物資等の展示（防災パネル展）を行った。
また、防災マップ等の配布を行い、市民への啓発を行った。
- (2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。
- (3) 防災教育として、「チャレンジ！防災48」などを活用した出前講座、新規採用職員研修を行った
- (4) ホームヘルパーを対象とした防災出前講座を行い、訪問時の災害対応について講義を行った。
- (5) 向日市まつりにおいて、防災コーナーを設置し、啓発を行った。

4 向日市防災訓練

防災対策を総合的かつ効果的に推進し、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関相互の連携を図るため、地域の自主防災組織、防災関係機関等の参加協力のもとに総合防災訓練を実施し、市民参加型の体験訓練などを含めた内容で実施した。

- | | | |
|----------|--|---|
| (1) 日 時 | 平成24年 9月22日（土・祝） | 午前 8時から午前11時55分まで |
| (2) 場 所 | 主会場訓練
地域分散型訓練

広報・展示訓練 | 向日市立第3向陽小学校グラウンド
森本公民館、市民ふれあい広場、稲荷公園、第3向陽小学校

向日市立第3向陽小学校グラウンド・体育館 |
| (3) 主 催 | 向日市防災会議 | |
| (4) 参加団体 | 乙訓消防組合消防本部、向日消防署、向日市消防団、京都府山城広域振興局、京都府乙訓土木事務所、京都府向日町警察署、陸上自衛隊福知山駐屯地第7普通科連隊陸上自衛隊桂駐屯地中部方面後方支援隊、(社)乙訓医師会、向日市社会福祉協議会向日市民生児童委員連絡協議会、向日市商工会、向日市指定上下水道協同組合、向日市水道メンテナンス(株)、(株)京都衛生開発公社、森本区、周辺自治・町内会西日本電信電話(株)京都支店、大阪ガス(株)京滋導管部、関西電力(株)京都営業所向日市立第3向陽小学校、向日市女性防火推進員、森本区自治防災会、森本地区浸水排除対策協議会、向日区自主防災会、西向日自主防災会、向日市ろうあ協会、向日市難聴者協会、(財)移動無線センター、樋口鉱泉(株)ほか | |
| (5) 内 容 | ア 主会場訓練・・・向日市立第3向陽小学校グラウンド
・現地対策本部設置運用訓練
・現地災害対策本部長到着訓練
・避難所開設訓練
・救出救助訓練
・救護所開設訓練
・被害状況調査報告訓練
・住民避難誘導訓練 | |

- ・災害時要配慮者安否確認訓練
 - ・道路啓開訓練
 - ・応急給水訓練
 - ・炊き出し・配給訓練
 - ・仮設トイレ設置訓練
- イ 地域分散型訓練・・・森本公民館、市民ふれあい広場、稲荷公園、第3向陽小学校
- ・安否確認訓練
 - ・主会場への避難誘導訓練
- ウ 広報・展示訓練・・・向日市立第3向陽小学校グラウンド・体育館
- ・起震車による体験コーナー
 - ・煙体験コーナー
 - ・パネル展示コーナー
 - ・避難所体験コーナー
 - ・木造建築耐震診断申込コーナー
 - ・非常食試食コーナー
 - ・飲料水製造実演コーナー
 - ・配電盤被害調査及び広報活動訓練
 - ・ガス啓発コーナー
 - ・特殊公衆電話設置訓練
 - ・陸上自衛隊救助物資機材等展示コーナー
 - ・向日町警察署災害用資機材展示コーナー
 - ・東日本大震災支援報告コーナー
 - ・木造住宅倒壊模型コーナー

(6)参加者 1,000人

5 災害記録

大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

警戒種別	設置日	設置時間	警報解除時間	閉鎖時間	動員数	備考
警戒本部	6月21日(木) ～22日(金)	午後4時10分	午前3時49分	午前3時50分	11人	大雨警報
警戒本部	7月3日(火)	午前8時35分	午前10時32分	午前10時32分	11人	大雨・洪水警報
警戒本部	7月15日(日)	午前2時36分	午前7時12分	午前7時12分	11人	大雨(土砂災害、 浸水害)・洪水警報
警戒本部	7月20日(金)	午後1時50分	午後3時55分	午後3時55分	12人	大雨(土砂災害、 浸水害)・洪水警報
警戒本部	8月14日(火)	午前3時20分	午前10時29分	午前10時29分	11人	大雨(土砂災害、 浸水害)・洪水警報
警戒本部	8月18日(土)	午後3時08分	午後8時21分	午後8時27分	11人	大雨(土砂災害、 浸水害)・洪水警報
警戒本部	9月3日(月)	午後4時41分	午後9時11分	午後9時11分	11人	大雨(土砂災害、 浸水害)・洪水警報
警戒本部	9月14日(金)	午後1時41分	午後3時33分	午後3時33分	11人	大雨(浸水害)・ 洪水警報
警戒本部	9月30日(日)	午前10時20分	午後7時34分	午後7時34分	11人	暴風警報
警戒本部	10月17日(水)	午後6時17分	午後7時19分	午後7時19分	11人	大雨(浸水害)・ 洪水警報
警戒本部	10月23日(火)	午前6時59分	午前8時35分	午前8時35分	11人	大雨(浸水害)・ 洪水警報

6 京都府南部豪雨に係る支援

平成24年8月13日夜半から14日明け方にかけての豪雨により、府南部に死者・行方不明者2名、床下・床上の住宅浸水3,000戸以上の甚大な被害をもたらした京都府南部豪雨において、宇治市内で支援活動を行った。

日 時	活動内容
8月15日（水）	被災家屋の消毒活動
8月16日（木）	被災家屋の消毒活動
8月17日（金）	被災家屋の消毒活動
8月20日（月）	被災家屋の消毒活動
9月3日（月）	り災証明発行のための現地被災状況調査
9月4日（火）	り災証明発行のための現地被災状況調査
9月5日（水）	り災証明発行のための現地被災状況調査
9月6日（木）	り災証明発行のための現地被災状況調査

7 自主防災組織活動助成

自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用器具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して事業費の2分の1の補助金を交付した。

- (1) 平成24年度中防災用器具設置町内数 4組織
 救助工具、資機材、水バケツ、防災倉庫
- (2) 平成24年度中消火器具設置補助町内会数 34組織
 ア 粉末消火器 136本
 イ 格納箱 40個
- (3) 平成24年度中消火器詰替補助町内会数 10組織
 粉末消火器 35本

8 国民保護対策事業

- (1) 7市2町危機管理事務連絡会議（ホテルセントノーム京都） 7月
- (2) 国民保護セミナー（京都平安ホテル） 2月

9 その他

水害に強い地域づくり協議会 8月、9月、11月、1月、2月、3月